

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
1	○					1-1-1	農業生産の支援	農政課	グリーンツーリズムは、受け入れ農家が減少しており、なかなか進んでいない。遠野など民泊先進地に話を聞いてはどうか。		受け入れ農家や関係団体で構成するグリーン・ツーリズム推進協議会で、研修会・講習会を開催しており、今年度は農家民泊をテーマとした講習会を開催しました。今後、遠野市等の先進事例について情報収集し活用してまいります。	C(同一)	—
2		○				1-1-1	農業生産の支援	農政課	農業でも生計が成り立つような仕組みや働く場所を確保する施策をおこなってはどうか。		高収益作物の生産支援、新規就農者への支援等で対応しております。	C(同一)	—
3		○				1-1-1	農業生産の支援	農政課	大迫の農地は平場に比較して条件が悪いが、年配の方々はまとまって農地を守ろうとしている感じがする。地域としてのまとまりを若年層も含めて拡げて欲しい。		地域の話し合いにより、地域農業マスタープランを作成しており、地域農業の維持発展に向けた話し合いに後継者等も含めて多くの方が参加できるようにしております。	C(同一)	—
4		○				1-1-1	農業生産の支援	農政課	自信を持って、元気に農業をやる必要があるのでは、意気込みが伝わるような事業をしてはどうか。 ・由利本荘市は焼畑による無栽培で儲けているとのパンフを作成している。 ・やる気のある人たちのシンポジウム また、地域を活性化のために地産地消を推進すべき		高収益作物の生産支援等で対応しております。	C(同一)	—
5	○					1-1-2	担い手の育成	農政課	農業の担い手として外国人を受け入れるための言葉やマナーを教える環境(教室)をつくり、すぐに地域に溶け込めるようにしてはどうか。		農業の担い手として外国人を受け入れる体制整備より、地域の農業者の育成確保を優先すべきと考えております。	E(困難)	—
6		○				1-1-2	担い手の育成	農政課	兼業農家だけでは生活が厳しいので、専業に農地も機械も集約、未利用と農地を安価で借りし規模拡大(効率化)できる制度の導入。		農地集積の推進の支援を実施しております。	C(同一)	—
7		○				1-1-2	担い手の育成	農政課	ぶどう栽培において、移住者などの新規就農者は初めは少ない方が来やすいと思うので、空き家に家庭菜園をつけるなど、農地の50アール要件の緩和してはどうか。		移住による新規就農者の農地の貸借への支援で対応しておりますが、農地の50a要件については、農地法において農業を行うための最低限の面積とされていることから、農業委員会において毎年検討しておりますが、現在も50aとしております。	D(参考)	—
8			○			1-1-2	担い手の育成	農政課	新規就農した際、農業アドバイザーからの指導助言をおこなう制度を導入してはどうか。		新規就農者等への技術指導として、新規就農者技術指導員を設置し対応しております。	C(同一)	—
9	○	○		○		1-1-2	担い手の育成	農政課	農業の後継者不足から耕作放棄地の増加や動物による被害が出ているので、動物と人間界の緩衝地帯づくりを行い、新規就農の受け入れを強化してはどうか。		新規就農者の支援策や新規就農者技術指導員を設置し受け入れ対応しております。	C(同一)	—
10				○		1-1-2	担い手の育成	農政課	女性の農業参画に対する支援企画や助成金をおこなってはどうか。		農業女子プロジェクトなど女性農業者の活動に支援しております。	C(同一)	—
11				○		1-1-2	担い手の育成	農政課	農業をする際に組織や新規就農に対する補助金制度はあるが小規模農家の若手が就農する際(現在の農家の後継者)にも補助金制度を導入してはどうか。		小規模農家の後継者であっても、自らの経営にリスクを負って農業経営を開始する場合など一定の要件を満たした新規就農者に対する支援制度が導入されております。	C(同一)	—
12	○	○		○		1-1-4 1-1-5	木材供給体制の構築 森林の保全	農村林務課	林業関係では高齢化や後継者問題が顕著で山の管理ができない状況が増えてきており、地域で取り組まなくては維持していけないと思うものの現状は難しい。松枯れで雨台風のたびに倒木も生じている。松くい木の早期の伐採、薪への利用をはじめ、山林の有効活用や地産地消、木材の利用拡大を推進してほしい。また、里山があることにより鳥獣被害も増加していることもあり、市の補助で山林や荒れた田畑を管理する組合のような制度があるとよい。		・高齢化や担い手不足から森林所有者による手入れができない状況にある。このことから、山林の手入れができるよう「山仕事講座」を開催し、新たな担い手の確保育成に努めてまいります。 ・近年地域や市民活動として里山整備をする団体が増えてきていることから、活動団体の掘り起こしや情報提供を行い、活動面積が増加するよう努めてまいります。 ・松くい虫対策については、バイオマス発電の燃料として活用することとしており、市民も巻き込み官民一体となった枯損木処理を加速化させる取り組みを検討しております。 ・農地の保全を目的とした活動を支援する国の制度があり、市内の農振農用地の約9割が制度を活用して地域が一体となって保全活動が行われております。今後も制度を活用して農地の保全活動を支援してまいります。	A(全部)	施策の方向に記載済み
13				○		1-3-1	商業形態の多様化	商工労政課	市外・地域外にお金が行っている。行政、商工会議所、学校などで、地域で消費することの意義を継続してレクチャーする仕組みを作ってはどうか。		地域内でお金や資源が循環する経済の仕組みをつくることは大切なことと考えております。その考え方などは一部の施策に反映されておりますが、広めていくことを検討してまいります。	D(参考)	—
14				○		1-3-1	商業形態の多様化	商工労政課	土沢商店街では日曜日開いている店が少ないので、日曜営業する店舗への支援策があればいいのではないかと。		まちなかの空き店舗等を活用して商売を行う事業者の支援を行っております。	C(同一)	—
15	○		○	○		1-3-2	商店街の再生	商工労政課	市街地に映画館や美術館があればいいのではないかと。また、旧市町単位の市街地に喫茶店や本屋のような交流・滞在できる場所をつくれればいいのではないかと。		立地適正化計画と整合し、「まちなか」に医療や生活、商業機能をもった施設を誘導する必要があり、映画館等は対象と考えておりますが現実的には難しいものと考えております。	D(参考)	—

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A～Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
16	○					1-3-2	商店街の再生	商工労政課	商店街の人の往来が少ないので、起業したい人への支援としてテナントの入居を仲介したり、商店街でイベントを仕掛ける人を育成するのがいいのではないかと。(サポート・アドバイス)	・イベント仕掛人の育成、助成 ・起業したい人への支援(テナント入居仲介) ・ギネス挑戦(わんこそば等) ・イルミネーション、光発電 ・賢治150周年に向けてビックイベント企画	JR花巻駅前にインキュベート施設を整備し、企業家や事業者の支援を行っております。地域起し協力隊や外部の人材を活用しながら知恵を出していくことは重要なことと認識しております。	C(同一)	—
17	○			○		1-3-2	商店街の再生	商工労政課	若者が集まる・買い物できる場がない。人の流れをつくったり、正式出店したりするきっかけになるよう、空き家の活用をどうするか。		まちなかの空き店舗等を活用して商売を行う事業者の支援を行っております。リノベーションという新しい動きも出てきており行政ができる部分について支援を行なってまいります。	C(同一)	—
18	○					1-3-2	商店街の再生	商工労政課	集客力(核となる)のある小売店が不足していると感じる。イベントの企画開催を通じて、集客と市内小売店を知ってもらう場を作ってはどうか。		商店街が企画するイベントに対して補助を行っており、そういった機会を通じて商店街の魅力に触れてもらう取り組みを継続してまいります。	C(同一)	—
19	○					1-3-2	商店街の再生	商工労政課	人が歩く賑わいある商店街づくりのため、駐車場を整備したり、空きスペースを活用したりして、商店街を歩行者天国にしてはどうか。		商店街の施設整備に対する補助の実施やイベント開催時に歩行者天国などの取り組みを行っている団体があります。	C(同一)	—
20	○					1-3-2	商店街の再生	商工労政課	子どもに商店街を知ってもらうために、見学したり、課題活動する機会をつくってはどうか。		以前、小学生を対象とした「街なか探検」という事業を実施しておりましたが、現在は行ってないことから、機会の創出を検討していきます。	A(全部)	産業博覧会の開催(就業体験コーナーの設置)を検討
21	○					1-3-2	商店街の再生	商工労政課	中心市街地が衰退しているため、空き家・空き店舗で子供の秘密基地(交流拠点)を作ったり、FAB施設(工作や製作スタジオ)を設置してはどうか。また、空き家・空き店舗を改築してシェアハウスなどを整備してはどうか。	花巻を昔の懐かしさを再現したまち「昭和のまち」として整備し、県内外からの旅行のコースにしてみよう。若者の意見を聴く場を増やす。100年の計画で統一性のある街並みをつくる。	まちなかの空き店舗等を活用して商売を行う事業者の支援を行っております。リノベーションという新しい動きも出てきており行政ができる部分は支援の検討を行ってまいります。	D(参考)	—
22	○					1-4-1	観光の魅力向上	観光課	花巻まつりや旧市町ごとのまつりについて、もっと市外、県外からまつりに参加できる仕組みをつくり、観光客の更なる取り組みを図るべきではないか。		花巻まつりは、神輿や花巻ばやし踊りの体験が可能であり、今後も取り組む予定とのことですが、他のまつりについては、体験が可能かどうかも含め、主催団体との協議調整してまいります。	C(同一)	—
23	○					1-4-1	観光の魅力向上	観光課	商店街の賑わいをつくるため、わんこそば等のギネスに挑戦したり、イルミネーションや賢治生誕150周年に向けてのビックイベントを企画していく取り組みを行ったらどうか。	・イベント仕掛人の育成、助成 ・起業したい人への支援(テナント入居仲介) ・ギネス挑戦(わんこそば等) ・イルミネーション、光発電 ・賢治150周年に向けてビックイベント企画	イベント開催等については、行政のみならず専門家の意見等をふまえ、もたらされる効果を狙う必要がありますので、その都度、関係団体等と協議しながら取り組んでまいります。	D(参考)	—
24	○					1-4-1	観光の魅力向上	観光課	市民や民間団体が、イベントを開催しやすくなるような集会場整備や制度支援があればいいのではないかと。		現状では、イベント開催のための集会場整備や制度支援の予定はありませんが、市外からの誘客につながるイベント開催については、支援できる可能性がありますので、その都度ご相談願います。	D(参考)	—
25				○		1-4-1	観光の魅力向上	観光課	農業体験・地場産物体験をフォルクローロとコラボして商品化し、交流人口の拡大を図ってはどうか。		農業体験や工場見学・体験などの産業観光は、多様化する観光客ニーズに対応するために必要なメニューと認識しています。宿泊施設を含めた旅行商品化については、需要を考慮し、観光協会とともに検討してまいります。	D(参考)	—
26			○	○		1-4-1	観光の魅力向上	観光課	地域の伝統行事は、慢性的な人手不足に陥っており、まつりの山車制作や運行に支障をきたしている。人手不足を解消するため、参加団体等に助成金の増加や手当を出すことで若い世代の参加を促してはどうか。		まつり等を主催する団体との話し合いなどにより、有効策を検討してまいります。	C(同一)	—
27	○		○			1-4-1	観光の魅力向上	観光課	観光施設では、WIFIが繋がりにくい場所があるので、WIFI環境をもっと充実させてはどうか。		市が管理する観光施設等は、順次Wi-Fi環境を整備していますが、宿泊施設等については、今後、増加が見込まれる訪日外国人観光客の受入環境整備の観点からも必要と考えられるため、補助制度を紹介しながら、整備が進められるよう周知してまいります。	D(参考)	—
28	○		○			1-4-2	観光情報の発信	観光課	花巻の観光についての情報が少なく、わかりにくいと感じる。ポランティアによる案内ツアー、市民参加によるパンフレットの作成、年間イベントカレンダーの作成やWEBで情報をまとめたり、景色や、温泉、体験型観光などの情報を合わせた情報誌の作成などを通じた情報発信を行ってはどうか。また、外国語表記の更なる充実を図る必要もあるのではないかと。	観光を特化してPRをする(あらゆるものをPRするのではなく、限定、集中してPRする)。湯をキーワードとした魅力発信を行う。花巻フェア(仮称)を他都道府県で開催する	多様化する観光客ニーズに対応できるよう体験型観光メニューの創出や磨き上げへの支援や増加する訪日外国人観光客に対応するため、観光施設等の多言語表記を行っています。今後、SNS等を活用し、さらに効果的なPRを意識して誘客に結びつくよう観光協会と連携して取り組んでまいります。	C(同一)	—
29	○					1-4-2	観光情報の発信	観光課	温泉地の活性化を図るため、環境省の温泉地活性化プランのモデル地区に応募してほしい。これを利用して、花巻の温泉をアピールし、花巻に観光客を呼び込み、さらに市の中心地に人を呼び込むことはできないか。	・環境省の温泉地活性化プランのモデル地区となり助成を受ける。 温泉、森林浴、健康増進、気功、食、伝統文化などをアピールして花巻に観光客を呼び込み、市の中心部に人を連れてくる。	事業主体となりうる花巻温泉郷泊施設等の理解、取り組みが必要であるため、市から情報提供してまいります。	D(参考)	—
30	○					1-4-3	移動しやすい観光地	観光課	花巻は、駅や市役所等の中心施設に向う地形が複雑なので、案内しやすい導線整備や案内看板を整備したらどうか。	中心部へ案内しやすい導線(道路)整備(わかりやすい案内看板の設置)	道路等のインフラ整備は予定はありません。観光案内板については、平成28年度に行った配置状況等の調査結果をもとに、平成29年度以降、観光客等にわかりやすいよう順次、新設、修繕を進める予定としております。	C(同一)	—
31	○		○			1-4-3	移動しやすい観光地	観光課	フリーライド自転車の導入やシェアライドした場合の観光地でのメリットが受けられるといいのではないかと。		観光客の需要を考慮したうえで、観光協会と検討してまいります。	D(参考)	—

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
32	○					1-4-4	おもてなしの向上	観光課	観光が「賢治」に関連するものが多いので、賢治以外の場所・コースも案内できる観光(遊び)コーディネーターを設置してはどうか。また、既存観光資源の掘り起こしを行い、PRすることも必要ではないか。		多様化している観光客ニーズに対応するため、体験型観光メニューの創出や磨き上げを支援しています。その体験型観光メニューの実施主体の方々がコーディネーター的な役割を果たすものと考えております。また、誘客に結びつく効果的なPRとなるよう観光協会と連携して取り組みます。	D(参考)	—
33	○					1-4-4	おもてなしの向上	観光課	観光客を案内できるスポットがないように感じることから、学校で花巻の観光や遊びについて学ぶ機会を提供することで、花巻の魅力を知ったり、魅力の掘り起こしを行うことができるのではないか。		一部の学校では、体験型観光メニューとなっている「遊び」を実践されていますが、市民の皆さんが、さらに花巻の魅力を理解し、PRできるよう情報発信してまいります。	D(参考)	—
34	○					1-4-4	おもてなしの向上	観光課	おすすめの観光地について、どこで聞けばいいかわからないので、タクシー運転手のコンシェルジュ化を推進してはどうか。	・環境省の温泉地活性化プランのモデル地区となり助成を受ける。 温泉、森林浴、健康増進、気功、食、伝統文化などをアピールして花巻に観光客を呼び込み、市の中心部に人を連れてくる。 ・花巻でしか体験できないインターンの実施(そば打ち、わんこそば店での給仕等) 旅行者に体験したことや花巻の景色をロコミサイトなどに写真つきで投稿してもらおう。投稿してくれた人にはクーポン等を。 ・各観光地をテーマに関連づける(鹿踊・・・関連する神社等、賢治) ・クックパッドの「ホリデー」というサイトで自分が考えたプランを投稿できるものがあり、それを利用して発信する。	タクシー業協同組合をはじめ、関係団体、企業等との調整が必要となることから、その有効性を含めて観光協会等とともに検討します。また、多様化する観光客ニーズに対応するよう体験型観光メニューの創出や磨き上げへの支援を行っていますが、今後も花巻ならではの観光資源をPRし、より多くの誘客につながるよう取り組みます。また、環境省の事業については、事業主体となりうる花巻温泉郷宿泊施設等の理解、取り組みが必要であるため、市から情報提供してまいります。	D(参考)	—
35	○	○	○	○		1-5-1	起業の推進	商工労政課	働く場所が少ないので、若者や移住者への起業支援(資金援助・住宅斡旋等)をおこなってはどうか。		市では空き家バンクを設け移住者に情報提供しているほか、購入・賃貸の一部を補助しております。勤労者向けの資金貸付制度を設け支援を行っております。	C(同一)	—
36	○					1-5-1	起業の推進	商工労政課	優良企業や働く場が少ないので、次のような事業を行ってはどうか。 ・イベント、商売等なんでも使えるフリースペースの設置。 ・空店舗を利用した共同オフィスの設置 ・WiFiの使えるフリースペース(起業の促進にもなる)の設置 ・起業コンテスト大会の開催	・インターンシップの充実 ・模擬面接 ・ビジネスマナー講習会 ・起業アドバイザーの紹介窓口の設置 ・医療モールのようなオフィス版があればよい ・学生・社会人が企画やアイデアを自由に言い合える場所をつくる	提言のなかの、模擬面接、ビジネスマナー講習会、起業アドバイザーの紹介窓口の配置については既に実施しておりますので周知を図ってまいります。	D(参考)	—
37	○	○	○	○		1-5-2	特産品の開発	商工労政課	花巻には、すばらしい特産品があるがあまり知られていないように思う。特産品のPRイベントやマーケティングの強化が必要ではないか。また、商品開発についても、花巻農業高校と共同開発するなど、他の機関とタイアップするべきではないか。		ご提案のとおりと考えています。特産品を販売するためにマーケティングの研究や販路を開拓していく支援の必要があると考えております。イトーヨーカ堂と花巻農業高校が弁当の開発等に取り組み、販売を行った実績があります。	C(同一)	—
38		○				1-5-2	特産品の開発	商工労政課	農業振興のために次のように他の分野と連携してはどうか。 ・図書館・・・農業振興、販売・料理、子供の自由研究 ・学校との連携 ・消費者との交流		農林業、商工業等と連携し、地元の農畜産物を活用した商品開発を進めてまいります。	D(参考)	—
39					○	1-5-2	特産品の開発	商工労政課	まち・ひと・しごと創生総合戦略に物産振興についての視点が無い。物産振興についての視点を組み入れてほしい。		「地域資源を活用した魅力ある農林業の推進」のところで、地域特産物の活用推進に触れております。この部分の発展形として物産振興を進めていきたいと考えております。	D(参考)	—
40	○				○	1-5-3	企業誘致の推進	商工労政課	誘致企業が少ないのでトップセールスを強化してはどうか。		企業誘致活動については、既立地企業との懇談や新規開拓といったトップセールに取り組みしております。	D(参考)	—
41	○					1-6-1	職業人材の育成	商工労政課	高卒後、県外に出て戻ってくるケースが少ないと感じるので、学生(小中高)のうちから花巻を知る授業の実施や職場体験や農業体験を増やしてはどうか。		学生と企業を繋げる取り組みとして事業所説明会や見学会を開催しており、今後はそれに加え実践的なインターンシップの実施を検討しております。	A(全部)	産業博覧会の開催(就業体験コーナーの設置)を検討
42	○		○			1-6-1	職業人材の育成	商工労政課	若い女性が集まれば男性も集まると思うので、シングルマザーの定住促進のために介護、保育士として雇用、育成してはどうか。		定住施策の一助になるものと思われませんが、特定の業種に絞らむという考え方は難しいものと考えております。	E(困難)	—
43	○					1-6-1	職業人材の育成	商工労政課	UIターン者を増やすための、マッチングサイトをつくる。学生等に登録してもらい、市が市内の企業を紹介してはどうか		求職者と企業を結びつける就職面接会の開催や「いわて就職情報ナビサイト」などへ市内企業が掲載するよう働きかけたいと考えております。	D(参考)	—
44			○			1-6-1	職業人材の育成	商工労政課	手仕事の訓練センターがあれば良い(資格取得)、ポジティブな季節労働スタイルの推進してはどうか		就労を支援する機関として職業訓練校、ポリテクセンターがあります。市が季節労働の推進を勧めることは難しいものと考えております。	E(困難)	—

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A～Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
45					○	1-6-1	職業人材の育成	商工労政課	働く場がない。花巻で就職することによるメリット・特典をつける。		花巻に魅力ある企業を誘致すること以外にもトータルで花巻が働きやすい環境に整備してることが必要と考えております。	D(参考)	—
46					○	1-6-2	勤労者福祉の向上	商工労政課	・若者の離職率が高いので、勤務年数のデータが必要である。 ・人手不足が原因で残業、休日出勤が増え、社員のワークライフバランスが崩れ、子育てや自分の趣味などの消費が減少するので、その分析が必要である。 ・若者の雇用形態についての分析が必要である。 ・KGIに「職場の福利厚生やワークライフバランスに満足している市民の割合」があり基準値43.3%、目標値50.0%である。しかし、KPIに「ワークライフバランスに取り組む企業割合」の目標値が30%となっているが、低すぎるのではないか。		市が行っている労働実態調査や関係機関との情報交換により雇用関係の状況の把握に努めてまいります。	D(参考)	—
47		○				2-1-1	地球温暖化の防止	生活環境課	移住者は恵まれた自然環境に価値を見出しているため、住宅の太陽光発電装置への補助や集落での小規模水力発電の導入など、再生可能エネルギーの導入推進をどうするか。		再生可能エネルギーの導入推進につきましては、地球温暖化対策に資するものことから、公共施設での導入検討を推進するとともに、導入事例をお示しながら、普及啓発に努めてまいります。	D(参考)	—
48		○				2-1-2	自然環境の保全	生活環境課	早池峰山の登山者のほとんどが日帰りである。登山者の宿坊も減少している。看板や宿坊を整備するなど、登山環境を整備し、宿泊客を増やせれば、経済効果がより期待できるのではないか。あえてシャトルバスの運行をなくすことで、宿泊客を増やすことはできないか。		シャトルバスの取り扱いについては、道路渋滞解消や自然環境の保全のため行っている車両通行規制と関連があることから慎重に検討してまいります。	D(参考)	—
49		○				2-1-2	自然環境の保全	生活環境課	早池峰山の高山植物を大迫地域の施設で育成植栽して、早池峰山に近い施設で販売すれば、登山者の誘引につながり、経済効果が期待できるのではないか。		保護植物である高山植物は、自然公園法や森林法等で採取が禁止されており、採取には許可が必要であります。自然保護などさまざまな観点から総合的な検討が必要と考えております。	D(参考)	—
50		○				2-1-5	花のあるきれいなまちづくり	生活環境課	向山公園に桜の木などを植えて、観光の名所にしてはどうか。		向山森林公園は生活環境保全林整備事業を活用し、市民の保健休養や自然観察を行う場として整備したものです。下部の池付近や中腹までの管理道及び遊歩道沿いには桜を植栽しておりますが、上部にあつては表土が浅いことから低木の花木を植栽したものであり、専門業者からも桜の植栽には適さないとの指摘をいただいております。	D(参考)	—
51					○	2-1-5	花のあるきれいなまちづくり	生活環境課	和田公園の遊具の拡充や誰でも集える場としての広場の整備を行うことで、交流人口の拡大を図ってはどうか。		地域住民のご意見を伺いながら整備計画を検討してまいります。	D(参考)	—
52					○	2-1-5	花のあるきれいなまちづくり	生活環境課	和田公園を民間に貸して、誰にでも利用できる仕組みをつくれれば交流人口拡大につながるのではないか。(気軽にBBQイベントを行うなど)		和田公園に限らず、市内の公園は誰でも利用できる状態です。個人での利用は自由ですが、火の取り扱いには十分ご注意ください。地面での直火は禁止しております。	E(困難)	—
53	○					2-2-1	道路環境の充実	道路課	道路環境の整備について、郊外の道路環境が悪く、また工事をして中断して長期化しているため、早く終わらせてほしい。		市は、地域から整備要望を受け評価し、主に国の交付金を活用し道路整備を行っており、昨年度は国からの交付額が予定より少なかったことから、一部整備を休止しているところですが、今後も、早期の事業完了に向けて財政上有利な地方債を活用するなど財源を確保し、計画的に整備を進めてまいります。	C(同一)	—
54			○			2-2-1	道路環境の充実	道路課(石鳥谷地域振興課)	道の駅の産直コーナーの整備や若い人が集まる店をの誘致や駐車場の整備をして、より魅力のある道の駅にしてはどうか。		道の駅石鳥谷関連施設の魅力アップを図るため、再編整備を検討してまいります。	A(全部)	—
55	○					2-2-2	公共交通の確保	都市政策課	コミュニティバスが本数も少なくあまり利用されていないので、バスの本数や路線を増やしたり、活用に向けたPRが必要ではないか。		市街地循環バス「ふくろう号」の充実や、わかりやすい情報発信等について、H28年度末策定の花巻市地域公共交通網形成計画の基本方針・事業に位置づける予定です。	B(一部)	花巻市地域公共交通網形成計画に基づく取組みの実施について反映する。
56	○					2-2-2	公共交通の確保	都市政策課	JALやFDAの就航先の都市との連携を強化する。今も飛行機=高いというイメージを持っている高齢者が多いので、その方々の掘り起こしができれば、更なる空港利用の促進が可能ではないか。更なる就航先都市を増やすことも重要と思われる。		空港(航空機)の利用促進を図るため、岩手県空港利用促進協議会とともに、引き続き、定期便就航都市へのPR活動や国際線チャーター便運航から定期便化されるよう関係各所へ要望していく。また、空港所在都市としても、花巻空港利用促進協議会とともに、市民をはじめ多くの皆様に利用されるよう今後もPRに努めてまいります。	B(一部)	空港利用促進事業として、岩手県空港利用促進協議会・花巻空港利用促進協議会への負担金支出し、事業展開していく。
57	○		○			2-2-2	公共交通の確保	都市政策課	中心市街地から新幹線の駅が遠く、電車、新幹線、空港がバラバラに存在しているため、観光客を市街地に呼び込みにくい状況である。観光客が市街地に集まれるように、例えば、新花巻駅付近に第二の中心地を整備する等、観光拠点や交通面の再整備を行ってはどうか。		当市は市域が広いうえ、観光施設が点在している状況であり、現在、主要観光施設を巡回するバス運行に対し支援しています。観光客を市街地へという流れについては、交通手段をはじめ、その可能性を関係団体と検討してまいります。	D(参考)	—

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
58				○		2-2-2	公共交通の確保	都市政策課	バスやJRの運行時刻が短く、本数も少ない。もっと公共交通を充実してほしい。たとえば、飲み会時、深夜には利用できない。たとえば、市と飲食店で深夜バスの運行を行うことで、市内のお店の利用増にもつながるのではないかな。		路線バスは継続的な乗り合い利用が無ければ増便等は難しい。また、交通手段は場所、時間等に応じたバス、タクシーなどの住み分けが必要と考えております。	E(困難)	—
59				○		2-2-2	公共交通の確保	都市政策課	東和町で大きなイベントをするにも十分な駐車場がないため、人を集めにくいので、駐車場を整備してはどうか。		新たに駐車場のみを整備する予定は現在のところありません。既存の公共用地を有効活用してまいります。	E(困難)	—
60	○					2-2-3	住宅の安定確保	都市政策課	まちなかに、住む・交流する・買うことかできる複合施設を整備してはどうか。		花巻市立地適正化計画に基づき、民間の力によるまちなかへの居住と都市機能の誘導を行います。また、市では都市機能誘導区域内において、都市再生整備計画や道路事業等の実施により、病院や広場、公営住宅、図書館等集客力のある施設の整備を支援・実施する予定ですが、複合施設の整備に関しての具体的な計画は今のところありません。	E(困難)	—
61	○					2-2-3	住宅の安定確保	都市政策課	空家については、危険なものは市が先導して壊すようにしたらどうか。		花巻市空き家等対策計画に基づき、代執行の必要性が生じた場合は対応することとなります。	B(一部)	花巻市空き家等対策計画に基づく対応について一部反映する。
62	○	○				2-2-3	住宅の安定確保	都市政策課	住宅の安定確保のため、手続きの簡略化をしてほしい。大迫で住宅を建てようとしても農業振興地域の見直しには多大な時間を要し、石鳥谷や紫波町の分譲地に流れている現状があるので、農業振興地域農用地区域の見直しに関する権限を県から移譲してもらえないか。		農業振興地域整備計画は、市が県の同意を得て策定しているもので、農用地区域からの除外については、農業振興地域の整備に関する法律第8条第4項の規定により県知事に協議し、その同意を得なければならないこととなっております。市が農業振興地域整備計画を決定することから、決定に当たり県の同意を得る行為については権限移譲の対象となっております。	E(困難)	—
63		○				2-2-3	住宅の安定確保	都市政策課	大迫高校への公共交通での通学は限定的なため、生徒が集まりづらい面もあることから、空き家を利用し町内に学生用の下宿を整備する。		大迫地域に市で新規に下宿を整備する考えは今のところありません。	E(困難)	—
64				○		2-2-3	住宅の安定確保	都市政策課	東和IC付近に遠野・釜石から人の流れ(観光客)を呼び込む施設を整備し、交流人口の拡大につなげればいいのではないかな。		花巻釜石間が全線開通されることにより、東和ICの利用は、なお一層増えることが予想されます。現在のところ、東和IC周辺に観光施設等を整備する計画はありませんが、道の駅エリア周辺で開催されるイベント等への支援を検討してまいります。	D(参考)	—
65		○				2-2-3	住宅の安定確保	都市政策課	大迫で生まれた人が住み続けるために、仕事は地域外でも住んでもらえるように低廉な住宅整備や住宅を建てやすい環境(農地転用、空き家を解体・改築しやすく)を整備したり、または思い切って市街地の空き家を壊し、新しい町のエリアを作り人口流入を図れないか。		市営住宅の運営により、住宅困窮者への低廉な住宅提供は今後も引き続き行われます。空き家の活用については、所有者の協力が不可欠であるが、空家バンク等のPRを行い利用を促してまいります。	B(一部)	市営住宅の整備・維持管理、空家バンクの活用について反映。
66	○					2-2-4	景観形成の推進	都市政策課	きれいな街路樹が並ぶ景観にすぐれた道路を維持するための電線等の地中化など景観美化活動により力を入れたいのではないかな。		電線等の地中化については、防災・景観・地域の活性化を目的に市道上町・成田線ほか1路線で事業を実施していますが、電線等の地中化については事業費が膨大なことから、整備については花巻市公共施設マネジメント計画に基づき実施を検討してまいります。	D(参考)	—
67	○					2-2-6	汚水の適切な処理	下水道課	下水道の利用環境があるのに利用していないところがある。市が先導して利用を促進させてはどうか。		指定工事店への説明会を実施し、指定店の協力を得て受益者への支援制度の周知を広く図り、施設の利用促進を推進する。また、マンホールカードやリーフレットを活用し事業のPRを図ってまいります。	B(一部)	水洗化率の向上
68		○				2-2-7	情報通信環境の充実	秘書政策課	光ファイバー等情報通信環境の整備は、移住者や民泊、グリーンツーリズムの受け入れのためには必要ではないかな。		通信事業者による通信環境整備が込まれない地域に対し、行政による光ファイバー網の整備のほか、無線を用いた快適な情報通信サービスの提供も含めて検討していく必要があります。	B(一部)	施策の方向に追加 通信事業者等による通信環境整備が見込まれない地域に対する快適な情報通信サービスの提供
69	○					2-3-1	危機管理体制の強化	防災危機管理課	近隣の県にある原子力関係施設		原子力災害は被害が広域に及ぶため、広域避難や広域輸送等の訓練は県の避難計画に基づいて実施する必要があり、市単独での訓練の実施は難しい状況です。	E(困難)	—
70	○					2-3-1 2-3-2	危機管理体制の強化 自然災害対策の強化	防災危機管理課	災害が発生した際に、自分がどこに避難(誘導)すればいいかわからない方が多く、いざというときに不安があるので定期的な訓練の実施(過去の教訓を生かす、防災士の育成)。		・防災上危険な地域については地域と行政、関係機関が連携して避難訓練を定期的実施してまいります。 ・防災士については、出前講座、研修会、訓練を通じて、その知識、技能を自主防災組織の活動に生かすよう促進してまいります。	A(全部)	(1)施策1 危機管理体制の強化 施策の方向 (2)自主防災組織の結成促進 ・防災講話や防災訓練等の実施(継続)

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
71	○					2-3-3	消防力の強化	消防本部総務課	エフエム花巻で火災情報などを緊急放送することで、迅速な消火活動や避難活動につながるのではないか。		本市では火災等が発生した場合、いわてモバイルメールや電話案内等で情報を発信しております。今後も、「市民の安心・安全」に役立つ正確な情報発信に努めてまいります。	D(参考)	—
72	○			○		2-3-3	消防力の強化	消防本部総務課	団員不足や仕事の関係等で、有事(平日の日中)の際の消火活動に支障がでているので団員確保のために団員報酬のUP(特典)などを実施してはどうか。		現在、魅力ある消防団づくりと団員確保の一環として、本市では、日頃から地域防災の要として活動している消防団員とその団員を支える家族を応援し、防災力の向上と活性化を目的に消防団員等に対してサービス等を提供する「花巻市消防団応援事業」を推進しております。今後、更なる「消防団員の処遇改善と団員の確保」に繋げるためにも、報酬等の引き上げについては、近隣自治体の状況を勘案しながら、適切な対応に努めてまいります。	D(参考)	—
73	○					2-3-3	消防力の強化	消防本部総務課	許可なく野焼きをしている方がいるようなのでパトロール等の実施をお願いします。許可していても天候によっては自粛するように広報(連絡)などを実施してはどうか。	パトロールしてほしい、申請時にアドバイスを、許可している場合は目印をつける、湿度・風速等の基準を設け規制する、野焼きが危険な天候時にFMで自粛の広報を、野焼きできない場合はトラックで回収するサービスを。	野焼きは、消防署に届出が必要です。また、風が強いときには、行わないことや完全消火等の注意喚起を防火講話会、広報誌及びFMはなまき等で広報しておりますが、無届で行う方もおりますことから、火災防止のため継続的な巡回広報の強化を図ってまいります。	D(参考)	—
74				○		2-3-3	消防力の強化	消防本部総務課	市内の企業に消防団活動への理解してもらうような研修会を実施することで団員確保につながるのではないか。		本市消防団員の約8割が被雇用者となっておりますことから、被雇用者が入団しやすく、かつ活動しやすい環境整備が求められると共に、事業所の消防団活動に対する一層のご理解とご協力が必要となります。このことから、本市では、「花巻市消防団協力事業所表示制度」を推進し、現在、15事業所からご登録を戴いております。	D(参考)	—
75			○	○		2-4-2	防犯活動の推進	市民生活総合相談センター	街灯(防犯灯含み)が少ない。地域の防犯対策として、整備をより進めていくことが必要ではないか。特に通学路を重点的に。		防犯灯の新規設置については、市内各コミュニティ会議で地域からの要望を集約し、その中で優先順位を決めて対応していただいていると認識しておりますので、お住まいの地区のコミュニティ会議へご相談いただきたい。	E(困難)	—
76	○		○	○		2-5-2	高齢者福祉の充実	長寿福祉課	高齢者の外出時の足の確保のため、巡回バスや気軽に乗りやすい停留所を整備するとか、回数券等の補助、運転免許返納者に対する交通チケットの支給等の制度などを考えてはどうか。		ひとり暮らし世帯又は高齢者のみ世帯の80歳以上の方に対し、社会参加、交流活動推進のための外出支援を目的にタクシー券の交付しております。高齢者の外出時の足の確保につきましては、高齢福祉の観点のみならず、本市の公共交通の在り方の大きな観点的なかで、ご提言の内容を含め、対策を検討していく必要があるものと認識しております。	D(参考)	—
77		○		○		2-5-2	高齢者福祉の充実	長寿福祉課	高齢者や障がい者、独居老人などの弱者が安心して住める環境が必要であるから、町の空き家を無償または安価で提供、未耕作地を家庭菜園とし提供し、地域内でお年寄りのデイサービスの開設、グループホームの開設をしてはどうか。また、高齢世帯への支援としてお年寄りが集まって食事会を開けるなどの支援をしてはどうか。		高齢者や障がい者、独居老人などの弱者が安心して住める環境づくりは地域に共に暮らす住民としての意識づくりや、見守りや支え合いなどの日頃の関係づくりが大切であると考えます。介護保険制度や福祉制度などの公的サービスに限らず、高齢世帯の方々がどのような支援を必要とし、地域に共に暮らす住民同士が実践できる支援は何かを検討していただき、そのなかで、家庭菜園やお食事会など地域での支援の取り組みに繋いでいただくことも必要と考えております。	D(参考)	—
78		○				2-5-2	高齢者福祉の充実	長寿福祉課	秋田では高齢者へタブレット端末を支給し、見守りや簡単にタクシーを呼ぶことができるなどの事例があり、高齢者の交通確保にも活かせるるので、実情を把握して地域にあった対策が必要ではないか。		高齢者の外出時の足の確保につきましては、高齢福祉施策の観点のみならず、本市の公共交通の在り方の大きな観点的なかで、ご提言の内容を含め、対策を検討していく必要があるものと認識しております。	D(参考)	—
79		○				2-6-1	健康づくりの支援	健康づくり課	大迫では家庭血圧測定をしているが、ほかの地域でももっと健康づくりの推進のために力を入れてほしい。		健康はなまき21プランの周知を行うことにより、ほかの地域での様々な保健活動の推進や状況を行っていることを広く知らしめ、市の健康づくりについて普及啓発を推進してまいります。	D(参考)	—
80	○	○	○			2-6-3	地域医療の充実	健康づくり課	小児科・産婦人科がある医療機関を増やせないか。または時間が遅くても診療してもらえるところを増やせないか。また、専門病院の術後の回復期の受け入れ体制を整えてほしい。		・現在、専門の小児科が4診療所、産婦人科が2診療所となっており、「花巻市内で少ないと考えられる診療科」についてアンケートした結果においても、これらの診療科目は常に上位に挙げられることから、市としてもまだまだ不足していると認識しております。 ・医師不足に加え、訴訟リスクの高い産婦人科など特定の診療科目には医師が足りない「医師の偏在」によって、小児科や産婦人科を増やす方は難しいと理解しております。ただ、遅い時間まで診療してもらえるかは、花巻市医師会などに協議したいと考えます。 ・また、どの診療科目を指す専門分野なのか分かりませんが、県の地域医療構想においても不足する「回復期」への対応が求められていることから、移転新築する総合花巻病院では回復期の充実が整備のポイントと伺っております。	D(参考)	—

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
81	○	○	○	○		3-1-1	子育て支援の充実	こども課	「出産・子育てするなら花巻」という独自支援(出産後の母への支援や就学前の子育て支援について)を検討してはどうか。 ・産後ケアサービス事業 ・中学生までの医療費助成(無料化) ・教材費の無償化 ・運動着等の購入補助	・ママ友などで気軽に集まれる場所づくり(幼児を連れて集まれるフリースペースなど) ・子育てサークル活動の支援(活動場所の電話予約など) ・高齢者や学生ボランティアを活用	こどもセンターや子育て支援センターでの親子交流の場の提供や各子育てサークルのネットワーク化を図り運営への助言や情報提供を行ってまいります。	C(同一)	—
82	○					3-1-1	子育て支援の充実	こども課	保健分野と教育分野の連携不足を感じるので、子育て相談窓口の一本化してはどうか※子育て(生まれてから高校卒業するまで)		市として就学前の児童期から就学後に向けた連携を図るため、子育てに係る分野の所管を教育委員会に集約しております。	D(参考)	—
83		○	○	○		3-1-1	子育て支援の充実	こども課	子育て環境の充実が必要と考えるので、大迫に学童クラブが1つしかないので、話し合いの場が欲しい。(小学校学区内に1か所設置)		学童クラブの無い学区の放課後活動への支援として、内川目小学校と亀ヶ森小学校に放課後子供教室を設置しております。	D(参考)	—
84			○	○		3-1-1	子育て支援の充実	こども課	女性の活躍や収入増のために次の事業をしてはどうか。 ・学童保育の時間延長 ・子供の病後も預かる保育所(保育士)の整備 ・子育てサポーター(登録制)送り迎え		・学童保育の時間延長については、要望のある地域について個別に対応していただいております。 ・病後の子どもの預かりに関しては、子ども・子育て応援プランに基づき整備を進めることとしております。 ・子育てサポーターについては、はなまきファミリーサポートセンター事業として対応しております。	C(同一)	—
85				○		3-1-2	家庭の教育力向上	こども課	学校だけが教育の場になっているように思うので、社会教育・家庭教育の充実を図ってはどうか。		・地域や家庭での教育力の向上については家庭教育力向上事業として取り組んでおります。	C(同一)	—
86				○		3-2-2	豊かな人間性の育成	小中学校課	小中学生に人材育成塾「考える力・敬う力」を身に付ける取り組みをしてはどうか。		市内各小中学校では、各教科や総合的な学習の時間等で「考える力」を高める授業改善に取り組んでおります。また、道徳や特別活動等で学習活動を工夫し、相手を敬う心を培っております。今後も、次代を担う子どもたちの、豊かな学力、豊かな人間性、健康・体力を高める教育の充実に努めてまいります。	C(同一)	—
87	○		○	○		3-2-2	豊かな人間性の育成	小中学校課	学齢児が地域のことに無関心(学校の世界がすべて)となっている。小中学生が地域の良さに気付くために先進事例研究し、教振の活用を図ってはどうか。		市内各小中学校では、教育振興運動推進協議会と連携し、地元の自然観察や郷土芸能などの伝承活動、世代間交流等、地域の実態に応じた特色ある取り組みが行われております。今後も、子どもたちが地域の方々と交流や体験的な活動をとらして、地域の良さに気づき、郷土に対する愛情を深める取り組みを支援してまいります。	C(同一)	—
88		○				3-2-4	教育環境の充実	小中学校課	年々子供が減少し、保育所や小学校の未来像が見えずに不安があるので、統廃合に関する未来像を早急に地域住民に提示してほしい。		現在、30~40年後を見通した保育・教育環境について、有識者等との協議や保護者・地域代表によるワークショップを実施している。平成29年度中に本市の保育・教育環境に関する基本方針(案)を策定したいと考えている。	B(一部)	統廃合に限った内容ではなく、「目指すべき保育・教育環境」という視点で基本方針を策定することを記載
89				○		3-3-1	自主的学習の推進	生涯学習課	「遊びの学校」の開催を通して、地域や人を知り、若い世代のリーダーを育成していくことが必要ではないか。		地域の人の関わりを通して、子どもたちが地域を知り、地域の後継者として育っていくことが重要であり、引き続き地域の生涯学習事業に関して指導支援を行ってまいります。	B(一部)	地域の生涯学習活動を支援していくことを記載
90				○		3-3-1	自主的学習の推進	生涯学習課	子どもの居場所となったり、遊ばせたりできる施設がない。定期的な「遊びの学校のような」イベントや子供が遊べる場所(放課後美術館)などがあればよいのではないか。		ふるさと探検隊やこどもの集いなど、不定期ではあるがイベントは開催している。また、民間団体が行う子ども向け体験講座や地域で行う学習事業も増加しており、市としても支援を行ってまいります。	B(一部)	生涯学習講座の開催、地域の生涯学習活動を支援していくことを記載
91	○					3-3-1	自主的学習の推進	生涯学習課	気功を生涯学習に取り入れていくのはどうか。		健康やスポーツに関する需要は高いので、出前講座等でのニーズを見ながら生涯学習講師の派遣等を検討してまいります。	B(一部)	多様なニーズに応じた講座の開催や講師の派遣、情報の発信を記載
92	○					3-3-3	国際都市の推進	国際交流室	友好都市との交流促進を今後も促進するため、お互いが行き来するイベントを開催してはどうか。		十和田市との間では、相互に訪問する市民ツアーを毎年実施しており、平塚市とは、当市からは毎年訪問していますが、平塚市からの市民ツアーは5年毎の周年記念の年に行われています。今後も友好都市で開催される様々なイベント等の情報発信やPRを行って、友好都市との交流の促進を図ってまいります。	D(参考)	—
93	○		○			3-4-1	生涯スポーツの推進	スポーツ振興課	運動できる(機器がある)施設の情報(広報等)も周知してほしい。		市内スポーツ施設の情報については、市HPにより周知を図っておりますが、市広報誌等による周知も検討してまいります。	D(参考)	—
94		○				3-4-1	生涯スポーツの推進	スポーツ振興課	早池峰山のある大迫においてクライミングやボルダリングに取り組む施設を整備し、積極的にPRしてはどうか。		大迫体育館に当該施設を設置し、多くの方々に利用いただいております。今後も積極的にPRを行ってまいります。	D(参考)	—
95				○		3-4-1	生涯スポーツの推進	スポーツ振興課	若者たちが健康的に集える場所として、運動やレクリエーションができる施設整備や活動支援をしてはどうか。		勤労青少年ホームにおいて、各種講座の開設やクラブ活動、レクリエーションを実施し、若者の支援を行ってまいります。	D(参考)	—

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
96				○		3-4-1	生涯スポーツの推進	スポーツ振興課	まちなかに総合体育館のような自由にスポーツ・体力作りができる施設があればいいのではないかな。		まちなかには商業や居住スペースとしての機能が集約されており、総合体育館のような大規模な施設用地や駐車場の確保という点から考えると、計画期間内での実施は難しいものと認識しております。	E(困難)	—
97	○					3-4-3	大規模スポーツ大会の開催	スポーツ振興課	プロ野球の試合開催を増やして、交流人口を拡大を図ることが有効ではないか。		大規模なスポーツ大会や合宿誘致を進めておりますが、プロスポーツの試合についても、誘致を進めてまいります。	D(参考)	—
98	○					3-4-3	大規模スポーツ大会の開催	スポーツ振興課	全国レベルの大会に対応できる施設整備を進め、交流人口増加を図ってはどうか。		本年、国体が本市においても開催されたように、本市には全国大会開催に対応できる施設が多く存在しており、今後も計画的な改修に努めてまいります。	C(同一)	—
99					○	3-4-3	大規模スポーツ大会の開催	スポーツ推進課 (国体推進課)	国体に訪れた方々に花巻の感想などをアンケートで聴取し、今後の観光施策、移住定住施策に役立てることはできないか。		本大会がすでに終了し、関係団体との協議等も終了していることから、実施は困難です。	E(困難)	—
100			○	○		3-5-1	芸術文化活動の推進	生涯学習課	アートは人を呼び、心を豊かにすることから、市内各地域(拠点箇所等)で、みんなの作品発表の場をつくってはどうか。		製作作品の発表の場は大切です。現在も旧4市町単位で芸術祭を開催しています。その他に振興センターや自治公民館でも地域の皆さんが主体となって文化祭を開催しています。	C(同一)	—
101	○					3-5-3	文化財の保護と活用	文化財課	日本遺産の登録がされれば話題性が上がり、交流人口の拡大につながると思われるので、登録にチャレンジしてはどうか。		民間主導で作成したストーリーに文化財を付加するための助言・協力をいたします。	D(参考)	—
102				○		3-5-4	民俗芸能の伝承	文化財課	地域の伝承芸能などの若手育成助成金などの支給してはどうか。		旧町では、各々基準を設け助成金を交付しておりましたが、合併により団体数が増加したことにより財政的対応ができずに廃止いたしました。現在も財政的理由と交付基準の設定が難しいことから、育成助成金交付は困難であると認識しております。なお、各団体の活動状況や課題を把握するため、アンケート調査を実施します。	E(困難)	—
103	○	○		○		4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	結婚したいができない男女が多い。若い人が気軽に集まったり、結婚などについて相談できる場を旧町単位程度で提供。婚活イベント出合いの場を拡充する。婚活支援策の情報発信を工夫する。	若者の意見を聴く場を増やす。 結婚について語るワークショップを開催する。 情報発信の仕方を工夫する(例:大学・企業へ市から直接出向いて情報を発信する)	昨今、若者の結婚に対する憧れがなくなっているとも言われてきていることから、結婚を考えるWSや意見を聞く場の設定については検討してまいります。また、市内には大学もありますことから、学生向けの情報発信も検討してまいります。	D(参考)	—
104	○					4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	移住者や外部の人たちから見た花巻の魅力(市民は当たり前と思っている日常)を外部に発信していく。(イベント仕掛け人の育成・助成、ギネス挑戦、賢治150年に向けイベント企画)	・イベント仕掛け人の育成、助成 ・起業したい人への支援(テナント入居仲介) ・ギネス挑戦(わんこそば等) ・イルミネーション、光発電 ・賢治150周年に向けてビックイベント企画	宮沢賢治関連事業については、H28に生誕120周年事業を実施したところですが、今後の周年事業について検討が必要と考えますが、本中期プランの計画期間に30年後となる生誕150周年事業の企画を位置づけることは考えておりません。	D(参考)	—
105	○			○		4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	地域の団結が強く、外様な人はなかなか飛び込めない。また、地区の集まりはほとんど高齢者の方々が占め、若者や外からの意見がほとんど通らないので、互いに価値観を認め合う意識づくりが必要なのではないか。		市では、コミュニティ会議のこれまでの10年の成果と課題について、幅広い年代の方々にWSに参加していただき、振り返りを行いました。その結果を検証のうえ、幅広い年代の方に参加していただけるような仕組みづくり、幅広い年代の方々が意見を言える仕組みづくりへの支援を行ってまいります。	A(全部)	幅広い年代が地域づくりに関われるような仕組みづくりへの支援(WS等)

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
106	○					4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	空家や公共施設のスペースを活用し、同世代同士で交流したり、地元と観光客が交流したりするスペースを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式や歳祝いの他に花巻だけの同世代イベントの開催 ・毎月年代別に集まるイベントの開催 ・トイレやバリアフリーの交流スペースの整備 ・芝生だけの広場の整備 ・移住後のことも考えてあげないと、せっかく移住してきても結局1人になってしまう。 ・新居を建てる人が多い。空き家に住むと何かしらの優遇制度があるとよい。 ・空き家の利用として、住宅だけでなくレストランや専門店等、商業的要素を持つものなど。 ・空き家バンクで空き家を網羅できていないので、空き家所有者に空き家のままにしておくよりも活用するほうがメリットがあるように工夫を。 ・空き家で処分できないでいる荷物を骨董市で出すなどして、所有者が空き家提供しやすい環境をつくる。 ・取り壊す空き家の木材を古材市場に出す。空き家のリフォームに使える。 ・空き家を地域(コミュニティ会議)で借り上げ、地域イベントや子供会活動、周辺住民の居場所づくりに活用する。 ・リノベーションを授業の一環に取りこむ。授業、課外活動に活用。 ・リノベーションした空き家を民泊利用。修学旅行等にも。花巻でしか体験できない(自然体験)ものとツアーのひとつに組み込む。 	<p>市民と移住希望者が市内で交流することにより、より花巻での生活をリアルに感じていただけることから、そのような場の創出を目指します。</p> <p>空き家バンクについては、10月末現在で94件の物件登録がされており、県内他市と比べると、登録件数は2番目に多い件数となっております。しかしながら、より多くの登録を呼びかける必要があるとともに、花巻地域以外での登録を強化する必要があります。そのため、空き家バンクに登録した空き家を市外の方が購入または賃貸する場合には、空き家所有者に対して奨励金制度を実施しております。</p> <p>・空き家に住む場合の優遇制度 ⇒UIJターン者の空き家取得と空き家賃貸に対する補助制度を実施しております。</p> <p>・空き家の古材を市場に出しリフォーム活用 ⇒現状で市内にそういった市場の存在は確認できない。一般的にはコスト増につながるため材を取り分けることはしないと思われ、古材活用に関しては個々の交渉に依らざるを得ないと考えております。</p> <p>・リノベーションを授業の一環に取り込む。 ⇒将来のまちの担い手の育成、誘導の観点から、授業や課外活動での講義等も有効であると考えられます。</p> <p>事業レベルでは、民間事業と大学生、高校生等の活動との連携が行われているところであり、今後も、さまざまな手段で連携を図っていくことが望ましく、市としては、それらの連携の橋渡しなどを行っていきたくと考えております。授業やカリキュラムとしての取組は、教育関係機関と協議、調整を検討してまいります。</p> <p>・リノベーションした空き家の民泊利用。 ⇒空き家リノベーションや民泊利用、体験型のツアーは可能性のある分野と思われ、そうした新しい事業に取り組む志ある民間の担い手と、連携、協働しながら可能性を検討してまいります。</p>	B(一部)	<p>施策の方向に追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と移住希望者が触れ合える場の創出 ・UIJターン希望者の定住促進 ・移住・定住促進等対策事業(空き家バンクの開設、同窓会開催支援) ・UIJターン者への助成
107	○			○		4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	地域関係が希薄化し交流が少ない。住民が連携をとって助け合いのできる地域づくり。(高齢者・こどもの見守り)		市内では、地域で高齢者等の生活支援を行う「生活支援有償ボランティアモデル事業」に取り組む地域も出てきていることから、今後ご意見のような住民間での連携が徐々に進むものと考えられます。	D(参考)	—
108		○				4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	結婚を取り持つ(仲人)方などを要請(支援)し、イベント等ではなく個人どおしでの面会する機会の創出。		市では、「はなまき婚シェルジュ育成事業」を実施しており、H29からは認定された婚シェルジュが活動を開始します。今後も毎年婚シェルジュが誕生するよう、受講生の受講を増やし事業を継続してまいります。	A(全部)	はなまき婚シェルジュ育成事業
109		○				4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	空き家バンクに掲載している空き家数が少ない。住所を掲載されてもわかりづらいので大まかな位置図がほしい。地域での空き家情報提供の説明会を開催してみてもどうか。		空き家バンクについては、10末日現在で94件の物件登録がされており、県内他市と比べると、登録件数は2番目に多い件数となっております。(12/4付け岩手日報より)しかしながら、より多くの登録を呼びかける必要があるとともに、花巻地域以外での登録を強化する必要があります。なお、ホームページ上のバンクでは該当する不動産が「空き家である」ことを不特定多数の方にお知らせすることが防犯上問題があるとの判断から概要のみ紹介しております。詳細な内容をお知りになりたい場合には、利用登録をしていただくことにより、情報をお伝えいたします。	C(同一)	—
110		○	○			4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	コミュニティ会議の活動が地域に見えてこない(役員のみしか参加していない)、コミュニティ会議のあり方の検証が必要なのではないか?近隣コミュニティとの連携の推進など。		市では、コミュニティ会議のこれまでの10年の成果と課題について、幅広い年代の方々にWSに参加していただき、振り返りを行いました。その結果を検証のうえ、幅広い年代の方に参加していただけるような仕組みづくり、幅広い年代の方々が意見を言える仕組みづくりへの支援を行ってまいります。	B(一部)	幅広い年代が地域づくりに関われるような仕組みづくりへの支援(WS等)
111	○		○	○		4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	地域の文化を知ってもらうためには、地域内交流や世代間交流が大切であり、地域における活動を支援する取り組みが必要ではないか。(地区対抗戦など)		市では、コミュニティ会議のこれまでの10年の成果と課題について、幅広い年代の方々にWSに参加していただき、振り返りを行いました。その結果を検証のうえ、幅広い年代の方に参加していただけるような仕組みづくり、幅広い年代の方々が意見を言える仕組みづくりへの支援を行ってまいります。	B(一部)	幅広い年代が地域づくりに関われるような仕組みづくりへの支援(WS等)

プランへの反映予定区分
A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

第2期中期プラン市民ワークショップ等意見一覧表

No.	花	大	石	東	有識	施策番号	施策名	主管課	意見内容(まとめ)	市民からのアイデア (花巻WSのみ)	検討結果(市の考え方)	反映予定 区分	第2期中期プランへの 反映状況
112				○		4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	コミセンに代わる多目的施設(場所)を整備すれば、交流活動が促進されるのではないかと。		東和コミュニティセンターについては地域住民の意見を参考に整備計画を検討してまいります	C(同一)	—
113			○	○		4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	地域の文化・先人や恵まれた自然環境の素晴らしさを子供に教えていくことで、子供が自らの地域を誇りに思い、地域を守っていくことにつながるのではないかと。		ご意見のとおりです。地域の先人や文化を学び、地域を誇りに思うことは地域の後継者づくりにつながり、ひいては市全体の人材育成にもつながると考えております。	D(参考)	—
114			○			4-2-1	市政への参画・協働機会の充実	地域づくり課	市議会議員・市職員との対話の機会(コミュニティより小さい単位)がほしい。		【市議会議員】 議会報告会の開催単位については、アンケート等をもとにニーズや日程、実施体制等を総合的に勘案して開催いたします。また、各種団体等からの要望により、内容に応じた常任委員会などで懇談会や意見交換会を行っており、今後も引き続き対応してまいります。 【市職員】 コミュニティ地区単位で行っている市政懇談会については、市長以下関係職員も出席しており、市民の皆様から直接ご意見を伺える貴重な場ととらえております。開催単位については、地域の意向も踏まえて検討してまいります。	D(参考)	—
115		○				5-1-1	窓口サービスの充実	秘書政策課	進む人口減少について、なぜ出ていくのか、なぜこの町に来たのかを転入届の際にアンケートをとり、理由を分析できれば、不足部分の把握やさらなる魅力発信策につながるのではないかと。		転入・転出の手続きの際に、転入出にかかるアンケートを行ってまいりましたが、平成28年7月から休止しておりましたが、ご提言を受け、アンケートの再開について検討してまいります。	D(参考)	—
116			○			5-1-1	窓口サービスの充実	秘書政策課	仕事をしていると市役所の開庁時間に間に合わないのと、延長などの配慮をお願いしたい。		市が実施した窓口アンケートによると、窓口延長日の継続のほか、月1回程度、土曜日の午前中の開庁を望む声が寄せられました。費用対効果の側面も検証しながら、今後とも開庁時間の検証を続けてまいります。	C(同一)	—
117		○				5-1-2	機能的な組織運営と人材育成	人事課	地域のための必要な施策は総合支所でもっと人とお金を割いて実施してほしい。		本庁事務と総合支所業務を見直し、予算について総合支所長枠として特別配分をしております。人員については、総合支所の機能強化を図るため、組織ヒアリング等を行い、職員の適正配置に努めております。	D(参考)	—
118				○		5-1-3	わかりやすい市政情報の提供	秘書政策課	集落内の世帯が減少しているのと、都会から戻る若者たちのために市のホームページ等で4地域の情報を開示すれば、歯止めの一部になるのでは。		市の未来を担う若者がふるさとに定住し、住みたい、住み続けたいと感じるような魅力の再認識を進める必要があるとともに、UIJターン希望者へその発信をする必要があります。	B(一部)	施策の方向に追加 シティプロモーションによる移住先としての認知度向上
119		○				5-1-4	行政評価の活用	秘書政策課	人口減少対策として、大迫へ大学の学部(アグリ関係)を誘致し、学生流入を狙ってはどうか。貸家、空き家の需要ができ、卒業生の定住(ブドウ栽培)が狙えるのでは。		市として、大学との連携は重要と考えており、県内の大学・専門学校(岩手大学、県立大学、富士大学、盛岡大学、県立大学盛岡・宮古短大、一関高専)と地方創生推進事業について、連携して取り組んでいます。しかしながら、新たな大学・学部を市内に誘致することは現段階では非常に困難であると認識しております。現段階では特に市内の富士大学と連携を取りながら、学生の就職支援などを通じ、学生の確保を図ってまいります。	E(困難)	—

60 33 24 45 3

プランへの反映予定区分

- A(全部) 意見の内容の全部を反映し、案を修正したもの
- B(一部) 意見の内容の一部を反映し、案を修正したもの
- C(同一) 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考) 案を修正しないが、事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難) A~Eのいずれも困難であると考えられるもの